

# 平成30年度決算 三木町の財務書類(一般会計)

歳入・歳出という現金の動きだけではなく、行政資源を総合的に管理し、財務活動をより分かりやすく示すため、統一的な基準に基づく財務書類を作成しましたので、その概要をお知らせします。

## 財務書類は次の4表で構成されます

### ①貸借対照表

会計年度末に三木町が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。

### ②行政コスト計算書

資産の取得に関わらない経常的な支出と、行政サービスの直接的な対価として得られた収入を表しています。

### ③純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部について、1年間でどのように変動したかを示しています。

### ④資金収支計算書

貸借対照表の現金預金が1年間でどのように変化したかを表しています。

## ①貸借対照表(バランスシート)

貸借対照表は、会計年度末に三木町が保有している資産と、その資産を取得するために使ったお金の調達方法を表しています。現金の収支に注目する従来の決算書では把握することができなかった、三木町の財産や負債など、これまでの資産形成の結果を知ることができます。

科目		金額	前年比	科目		金額	前年比
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	20,194,907	291,569		固定負債	8,112,041	114,387	
有形固定資産	18,031,906	△ 35,228		地方債	6,820,364	26,783	
事業用資産	12,050,269	82,287		長期未払金	179,546	179,546	
インフラ資産	5,802,062	△ 122,497		退職手当引当金	1,105,539	△ 96,269	
物品	179,575	4,982		損失補償等引当金			
無形固定資産	7,404	458		その他	6,592	4,327	
投資その他の資産	2,155,597	326,339		流動負債	776,349	72,423	
流動資産	2,826,802	△ 410,720		1年内償還予定地方債	580,317	5,362	
現金預金	476,726	△ 259,618		未払金			
未収金	32,073	7,166		未払費用	62,379	62,379	
短期貸付金	7,829	116		前受金			
基金	2,312,147	△ 158,039		前受収益			
棚卸資産				賞与等引当金	112,490	8,876	
その他				預り金	18,813	△ 1,868	
徴収不能引当金	△ 1,973	△ 345		その他	2,350	△ 2,326	
				負債合計	8,888,390	186,810	
				【純資産の部】			
				固定資産等形成分	22,514,883	133,646	
				余剰分(不足分)	△ 8,381,564	△ 439,607	
				純資産合計	14,133,319	△ 305,961	
資産合計	23,021,709	△ 119,151		負債及び純資産合計	23,021,709	△ 119,151	

### ●有形固定資産・無形固定資産

道路や学校など三木町が保有する公共施設の総額

### ●投資その他の資産

特定の目的で積立てた基金や出資金の総額

### ●流動資産

現金預金や現金化しやすい未収金等の総額

### ●負債の部

地方債の残高や退職手当引当金などの総額  
将来世代が負担する金額

### ●純資産の部

道路や学校等の整備の財源として受けた国や県からの補助金や地方税などの総額  
これまでの世代が負担してきた金額

## ②行政コスト計算書

行政サービスを提供する際に発生する支出のうち、資産の取得(土地や建物の購入)に関わらない支出と、行政サービスの対価として得られた収入を計上しています。経常費用が経常収益を上回っていますが、これは行政コスト計算書上の収入に、行政サービスの直接的な収入のみを計上しているためです。

科目		金額
経常費用	9,540,855	
業務費用	5,869,882	
人件費	1,511,104	
物件費等	4,197,984	
その他の業務費用	160,794	
移転費用	3,670,972	
補助金等	1,244,215	
社会保障給付	1,234,455	
他会計への繰出金	1,189,688	
その他	2,614	
経常収益	521,093	
使用料及び手数料	167,289	
その他	353,804	
純経常行政コスト	9,019,762	
臨時損失	42,341	
臨時利益		
純行政コスト	9,062,103	

### ●人件費

職員給与や、賞与引当金や退職手当引当金の繰入額

### ●物件費

物件費のほか、施設の維持修繕費や減価償却費

### ●その他の業務費用

支払利息、貸付金、火災保険料等

### ●移転費用

社会保障給付や他会計への繰出金等

### ●経常収益

使用料や手数料(行政サービスの直接対価)、財産貸付収入、現金利子等

## ③純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部の増加要因と減少要因を計上し、純資産が1年間でどのように変動したかを示しています。

科目	合計	合計内訳	
		固定資産等形成分	余剰分(不足分)
前年度末純資産残高	14,439,280	22,381,237	△ 7,941,957
純行政コスト(△)	△ 9,062,103		△ 9,062,103
財源	8,658,385		8,658,385
税金等	6,858,007		6,858,007
国県等補助金	1,800,378		1,800,378
本年度差額	△ 403,718		△ 403,718
固定資産等の変動(内部変動)		△ 35,499	35,499
有形固定資産等の増加		546,943	△ 546,943
有形固定資産等の減少		△ 581,458	581,458
貸付金・基金等の増加		2,351,443	△ 2,351,443
貸付金・基金等の減少		△ 2,352,427	2,352,427
資産評価差額			
無償所管換等	△ 255	△ 255	
その他	98,012	169,400	△ 71,388
本年度純資産変動額	△ 305,961	133,646	△ 439,607
本年度末純資産残高	14,133,319	22,514,883	△ 8,381,564

### ●純行政コスト

行政サービスを提供するために要したコストからサービス提供による直接的な対価を差し引いた額

### ●財源

行政サービス以外での収入の総額

### ●固定資産等の変動

資産(土地や建物の購入)や貸付金・基金の変動

### ●資産評価差額

有価証券等の評価変動

### ●無償所管換等

お金を伴わない資産の増減

## ④資金収支計算書

貸借対照表の現金が1年間でどのように変化したかを示しています。現金の使いみちにより、「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」の3つの区分に分け、どのような行政活動にいくら使ったか分かります。

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	8,811,831
業務収入	8,739,131
臨時支出	36,501
臨時収入	272,498
業務活動収支	163,297
【投資活動収支】	
投資活動支出	2,834,162
投資活動収入	2,386,187
投資活動収支	△ 447,975
【財務活動収支】	
財務活動支出	580,172
財務活動収入	607,100
財務活動収支	26,928
本年度資金収支額	△ 257,750
前年度末資金残高	715,662
本年度末資金残高	457,912

### ●業務活動収支

行政サービスを行う中で、毎年継続的に収入・支出される総額

### ●投資活動収支

学校、道路等の公共施設の投資活動収支や、貸付金などの収入・支出の総額

### ●財務活動収支

地方債等の借入・償還等の総額

前年度末歳計外現金残高	20,682
本年度歳計外現金増減額	△ 1,869
本年度末歳計外現金残高	18,813
本年度末現金預金残高	476,725

## 平成30年度決算 貸借対照表を住民一人当たり換算すると・・・

